

# ひとひらレポート2020 No.5



URL : <https://onedropbangladesh.jimdofree.com/> E-mail : [onedropbangladesh@yahoo.co.jp](mailto:onedropbangladesh@yahoo.co.jp)

ブログ : <http://onedropbangla.seesaa.net/>

このレポートは支援者の皆さんへお届けするワンドロップの年間報告書です。



〔写真〕 マジュンダーワンドロップ小学校第1期卒業生たち 2021.01.04 撮影

## OneDrop(ワンドロップ)について

ワンドロップは2010年12月に「バングラデシュに楽しい学校を作ろう」という目的で結成された市民団体です。2016年、バングラデシュのコミラに小さい学校が完成し、20名の1年生が入学しました。今年1月、彼らは5年間の義務教育を修了し、小学校を巣立っていきました。そして、今年も新1年生が入学してきました。ワンドロップは、この小学校の子どもたちが、楽しく元気にいきいきと学べるよう、日々支援活動を継続しています。

### *Bangladesh* での活動

- ・マジュンダーワンドロップ小学校の運営をします。
- ・MINAKO 奨学制度。貧しい子どもたちが学習を続けられるよう奨学金の支給をしています。そして、その奨学金のサポーターを募っています。
- ・文房具支援。日本の小、中、高校や地域で文房具などを集め、年に2回のスタディーツアーの際に現地の学校に届けています。

### 日本国内での活動

- ・啓発活動(写真展、講演会)
  - ・募金活動(イベントに参加しバングラデシュカレー、民芸品、リサイクル品を販売します)
- 詳細はホームページをご覧ください

2020年は世界中がコロナウイルスに翻弄された1年でした。それでも、1月のスタディーツアーはなんとか無事に終え、報告会(2月29日)も開催しました。しかし、その後は、コロナウイルスの感染拡大のため、国内のイベントがほとんど中止になり、現地でも学校閉鎖が続いています。そんな中で行った2020年のワンドロップの活動を報告いたします。

### (1) 第20回スタディーツアーを実施しました(2020.01.28~02.09)

マジュンダーワンドロップ小学校の校舎が3階建てになり、1年生から5年生までがそろった完全な小学校になりました。ひとつぶキャンペーンで校舎増築に多くの方のご協力をいただきありがとうございました。トイレも2室から5室に増設完了しています。

また、最終学年の5年生は、学校生活最後の思い出を作るため、初めての校外学習「買い物体験」をしました。5年生の緊張した買い物風景が微笑ましく、忘れられない思い出となりました。



…ワンドロップ小学校の子どもたちの笑顔は本当に素敵だ。家での暮らしは、着るもの食べるものにもこと欠き、14、5歳にもならないのに嫁に行かされる子、学校をやめさせられて働きに出される子……、そんな子らが学校にいる時間は過酷な生活を感じさせない笑顔を見せてくれる。

しゃべれないぼくに「ヤマナカ、ヤマナカ!」「ヤマナカグループ!」と呼びかけてくれる。カメラのレンズに笑顔を振りまいてくれる。買物体験では孫のようなかわいい女の子が手を繋いでくれて、おじいさんのぼくを気づかせてくれる。買物体験で買ったお菓子をぼくらに分けてくれる、いじらしい。ぼくは、子どもたちの可愛い笑顔をいっぱい感じているから、やめられないのだろう。

笑顔を見せることもできない子、生きていくために嫌な顔をしなければならない子……、スタディーツアーの10日間ほどの間に、ぼくに見えていない子らの顔、見ていても心に留めることなくやり過ごしている子らの顔もあるだろう。けど、そんな子らの顔を思い浮かべても、ぼくはバングラデシュの子どもたちに心魅かれているのを感じる。

(スタディーツアー参加者山中さんの感想文から)

### (2) 緊急食糧支援を実施しました

コロナによる経済悪化で家庭が困窮し、さらに、3月からの学校閉鎖のために子どもたちは給食を食べられなくなりました。ワンドロップは6度にわたり現地スタッフの協力のもと、「コロナに負けるな」の応援メッセージを添えて、食糧支援を継続実施しました。

特に、8月のイスラム教の大切な祭りのイードの時は、ワンドロップ小学校に牛一頭を提供しました。分配された牛肉に、生徒たちはとても喜んでいました。ミナコ奨学生たちにもイードのプレゼントを贈りました。感謝のメッセージが送られてきました。

国内では写真展やイベントで緊急食糧支援を広く呼びかけ募金を募りました。日本でも経済が苦しくなっているのにも関わらず、多くの寄付を寄せていただきました。緊急食糧支援を実施するたびにニュースレターで様子をお知らせしました。



### (3) マジュンダーワンドロップ小学校が私立の小学校として認可されました

認可されたことにより、生徒たちはマジュンダーワンドロップ小学校卒業生として修了証を授与されます。バングラデシュでは、中学校へ進級したい者は、12月の国家テストを受けて合格しなければなりません。ただ、2020年はコロナのため、政府はテストを実施せずに、全員を合格させるという決定を出しました。



そして、1月にマジュンダーワンドロップ小学校5年生18名に国から義務教育修了の認定証が送られてきました。全員に中学校への門が開かれたわけですが、18人のうち11名が進級します。あとの7名は家庭を助けるために働きます。7名は今進級できなくても、いつか勉強を続ける条件が整ったら、中学校からスタートできます。現地スタッフの努力のおかげです。そして、学校は11月と12月は閉鎖されていましたが、生徒の学力を保障するために、先生方の協力の下、5年生に補習授業をしました。先生方の熱意から出た活動です。

### (4) 卒業生たちにアルバムを作っています

2016年に入学した20名の第一期生たち。5年の間に数人の増減がありましたが、現在18名。彼ら一人ひとりに個別の「卒業アルバム」を作っています。2016年から5年間の思い出が詰まっています。きっと一生の宝物になると信じています。

もうすぐ出来上がります。次のバングラデシュ訪問の時に、正式な卒業式を行って手渡そうと考えています。

### (5) 写真展、講演、啓発活動をしています

コロナのため、2月以後はほとんどのイベントが中止になり、7月のバングラデシュ訪問も叶いませんでした。国内でできる活動は写真展が主体になっています。



緊急食糧支援の様子が現地から動画や画像で送られてきます。それを展示しました。写真展のタイトルは「コロナに負けるな」です。

また、兵庫教育大学附属中学校からの依頼で、1年生と2年生の総合学習の時間に、国際支援という枠で授業をしています。今年の3月まで続きます。このコロナの時期だからこそ、自分のことばかりでなく

他者のことも考えることの大事さを学んでほしいと思います。ワンドロップの活動を説明しているのですが、彼らにどのように響いているのか楽しみです。

### (6) ニュースレターを発行しています

食糧支援の様子をニュースレターでお知らせしています。現地の様子は今まではブログやホームページで報告するだけでしたが、ニュースレターの送付によってワンドロップの活動をよりよく知っていただけます。新しい情報があるたびに不定期ではありますが、これからも発行します。

## (7) ミナコ奨学生たち

コロナのため現地に行くことができなくなり、奨学生たちの実際の様子が伝わってきません。ワンドロップは学校が閉鎖中でも、奨学生たちに毎月の支援金を渡すように現地スタッフにお願いしています。8月のイードの時は、奨学生たちにプレゼントを渡し、様子を知らせてもらいました。生徒たちの画像が送られてきて元気であることがわかり安心してしています。ただ、今も学校閉鎖が続いているため、少しでも家計を助けるために働くようになっている生徒もいるようです。学校が再開された時に戻れるのかどうか不安があります。再開されても学校に戻らない生徒へは支援は続けられません。サポーターの方には個別に説明をし、支援金の返金をさせていただきます。

## 終わりに

世界中を混乱に陥れている異常な状態が続いています。一刻も早くこのパンデミックが収束し、安心して子どもたちが学校にもどり勉強が続けられるように願うばかりです。

昨年の夏、ワンドロップは現地へは行けませんでした。今まで以上に現地スタッフと連絡を取り合い、信頼関係がより強固になりました。そして、日本とバングラデシュとが協力して緊急食糧支援というプロジェクトを遂行できました。生徒たちが飢えずにすみました。

さらに、マジュンダーワンドロップ小学校が現地で私立小学校として認可され、無事に旧5年生全員に義務教育修了証がバングラデシュの教育省から交付されたのは非常にうれしい出来事でした。これからの卒業生たちに中学校進級への道が開けました。

国内では、写真展を見て、新聞を見て、たくさんの方がワンドロップの活動に興味を持っていただけました。皆さんの暖かい心がバングラデシュの子どもたちを飢餓から救っているのを実感しています。

わたしたちの活動はとても小さいものなのですが、現地の子どもたちにとっては本当に必要なものだと思います。今年も、まだまだ大変な状況が続きそうですが、現地と連携をとりながらできる支援を続けてまいります。

## ◎支援者の皆さまへ

ワンドロップは法人格を持たない「任意団体」です。  
お送り下さった支援金については税金控除の対象となりません。予めご了承くださいませよう、お願いいたします。

◎未使用の切手、書き損じハガキ(官製ハガキ・年賀ハガキ)をお送りください。引き出しの中などに眠っているものをお送りいただければ幸いです。支援者様へのお手紙の発送に使わせていただきます。

◎メールやラインでの配信をご希望の方はご連絡ください。



## 添付資料

《2020年の活動 コロナ禍の中でできたこと》

2020年1月

- ・兵庫教育大学附属中学校の立志式でワンドロップの話(1月23日)
- ・母と女性教職員の会、兵庫県集会第一分科会でワンドロップのお話をして話し合い(1月26日)

1月28日～2月8日 第20回スタディツアー

2020年2月

- ・小野市「はーとシップフェスタ」で写真展とバンガラカレーの販売(2月15日)
- ・三木市「みっきいホール」で活動報告写真展(2月17日～23日)
- ・小野市「コミセンおの」でスタディツアーの報告会(2月29日)

2020年3月

- ・加古川市の東播磨生活創造センターかこむの「タパス」で写真展(3月14日～20日)

2020年4月

- ・緊急食糧支援 No.1(4月23日)

2020年5月

- ・緊急食糧支援 No.2(5月10日)
- ・緊急食糧支援 No.3(5月19日)

2020年6月

- ・加古川市の東播磨生活創造センターかこむの「タパス」で食糧支援写真展(6月22日～7月3日)
- ・緊急食糧支援 No.4(6月18日)

2020年7月

- ・緊急食糧支援 No.5(7月4日)

2020年8月

- ・小野市「コミセンおの」で緊急食糧支援写真展「コロナに負けるな」(8月10日～22日)
- ・緊急食糧支援 No.6(8月2日)

2020年9月

- ・小野市図書館で緊急食糧支援写真展「コロナに負けるな」(9月8日～30日)

2020年10月

- ・ワンドロップ小学校、5年生に補習授業を開始(10月29日～)

2020年11月

- ・加古川市寺家町商店街「びいプラス」で緊急食糧支援写真展(11月13日～23日)
- ・小野市鯉溪温泉「きすみのマルシェ」で写真展とバンガラカレーの販売(11月15日)
- ・兵庫教育大学附属中で総合学習「国際支援」が開始(11月11日～)

2020年12月

- ・小野市庁舎で緊急食糧支援写真展「コロナに負けるな」(12月19日～2021年1月16日)
- ・ワンドロップ小学校5年生に修了証授与、新1年生の面接(12月29日)